

# 地域のもりから学ぶ森林づくり 2016

## 「森林の生物多様性を学ぶ」 第三回森林教室



第3回森林教室は、7月14日（木）、定山溪国有林において定山溪中学校の生徒が、これまでの森林教室などの活動経験を生かしての『夢の森づくり』に取り組みました。

夢の森づくりとして活動するためには、活動区域（林内）を観察したり、作業を効率的に行うための歩道が必要なことから、森づくりの一步である歩道作設を実施することとしました。



生徒たちが林内を散策して歩道ルートの設定をし、その後、生徒が枝払いノコと草刈り鎌を使って、作業を実施しました。

作設作業では、始めに当センターからノコと鎌の使い方を説明し、ほとんどの生徒は鎌を使うのが初めてであることから、説明を真剣に聞き、実際の刈払では、みんなが周囲の状況を確認しながら作業を実施し、無事、歩道が作設できました。





つづいて、草刈りをした歩道箇所をポケットコンパスで測量し、歩道を図面に整理することとしました。

ポケットコンパスは今年度1回目森林教室でも使用していたことから、生徒たちはそのときに指導された内容を思い出しながら、無事、測量することができました。

今後は、生徒が設定作設した歩道を活用しての森林教室の実施を予定しており、どのような『夢の森づくり』になるのか、生徒も楽しみのような様子でした。

暑い中での作業でしたが、気持ちのよい汗を流していました。



今後の日程

9月27日(火曜日)

第4回森林教室

もりを育てよう